

社会保険労務士 山下事務所 は 「この会社で働くことができてよかった」 そう思えるような会社作りのお手伝いを致します

★ 『動』と『働』… 機会損失 ★

◆ 当たり前のことですが、両者は異なった意味を持ちます。

『動』とは、正に動くこと。対義語は『静』ですね。『働』とは、そのものの能力を“フル”に使って何かをすること。対義語は『怠』です。

動と静、働と怠。文字にすると何のことはないのですが、労働とコストの観点から見ると非常に重要な意味を持ちます。

◆ 労働の観点から見てみましょう。

労働時間は、1日8時間、1週40時間の時間制限がありますが、この時間帯は、能力を“フル”に使っている時間のはずです。遅刻や欠勤等、ノーワークノーペイの原則を守っているならば(いわゆる控除)賃金は発生しませんが、これらが発生しない限りは、1日8時間の時間帯について賃金が発生しています。正確に言えば分・秒単位です。

◆ コストの観点では、固定費を見てみましょう。

固定費とは、事業を行っていく上で、売上や販売数量の増減に関係なく一定に発生する費用のことです。

賃金は固定費です。しかも、金額が莫大であるにも係らず、増減をさせにくいものです。日本の企業は、労働分配率(利益に占める人件費の割合)が50~65%と言われています。つまり、やっとの思いで稼いだ100円の利益のうち、半分以上を人件費に持って行かれているわけです。

◆ ここで、『動』と『働』に戻ってみましょう。

『動』とは、正に動くこと、と述べましたが、動いているだけでは利益を生みません。1人1分毎に固定費というコストが容赦なく費やされる時間に過ぎません。

『働』とは、能力を“フル”に使っている時間ですので、1分毎に費やされる固定費以上に、利益を稼ぎ出す時間です。

◆ したがって、単なる動きは利益がゼロ。ゼロどころか固定費が消費されるので、マイナスという負のものでしかない。労働とコストの世界では、動は静・怠と同義語なのです。

◆ では、この『働・動・静・怠』の時間(利益を稼ぎ出している時間と 役立つ無駄な時間)をどうやって見つけるのか、ということになりますが、一つの手法として『瞬間観測法』というものがあります。

◆ この方法は、1日の中でランダムにある時間帯を選び、「今、何をしていたか。」をチェックする方法です。これを数週間で数千回繰り返します。「今、作業をしていた」、「今、段取りをしていた」、「今、ちょっと休憩をしていた」等と区分けします。この区分けによって、正味の稼働時間(利益を稼ぎ出す時間)と 準備やサボり時間(利益を稼ぎ出さない時間)が出てきます。

◆ ある指標では、前者は48%・後者は52%という数値がありました。この52%は『赤字時間』です。苦勞して稼ぎ出した利益を食いつぶす時間です。賃金が10万円であるならば、働いていない時間分の賃金(5.2万円)を無駄に払った、ということもできます。利益を生み出す時間の方が短いので、当然ながら利益は上がりず労働分配率も高いのです。

◆ 時間は貴重な経営資源です。

仮に、1人1分あたりの固定費が120円であったとすれば、1分経過毎に金庫から120円がなくなるのです。100人の社員が10分間サボったとするならば、12万円(120円×100人×10分)が消えてなくなります。

◆ この1人1分間の固定費から逆算して、無駄な時間の固定費を算出すると、年間にして数千万円の費用が計上されることが分かります。会議の時間も、固定費としてみる事が出来ます。(参加人数×所要時間×1人1分あたりの固定費)によって表すことができ、年間にして数千万円という費用になります。

利益は、『働』によってしか生み出すことは出来ません。

JREPOに関するお問い合わせは下記まで

社会保険労務士 山下事務所

〒815-0071 福岡市南区平和2-23-2

Phone 092-982-2595 Fax 092-523-1836

E-Mail : office-srry@sr-yamashita.comホームページ : <http://sr-yamashita.com>

【業務案内】

- | | |
|------------|------------|
| ★就業規則の作成変更 | ★401k導入支援 |
| ★人事賃金制度の構築 | ★セミナー／講演 |
| ★管理者研修の実施 | ★各種助成金の申請 |
| ★退職金制度の構築 | ★労働／社会保険手続 |

事務所は不在がちです。ご連絡は、お電話もしくはE-mailでお願い致します。